

札幌市SLA通信

発行 札幌市学校図書館協議会
 会長 富田 明好
 事務局長 木村 佳子
 文責 情報部

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/sapporo/>

◆『第42回札幌市学校図書館協議会研究大会』が開催されました！

<公開授業について>

令和元年12月12日(木)、札幌市立屯田北中学校にて研究大会を開催いたしました。前半は北海道学校図書館協議会研究大会 旭川大会で報告した佐藤菜保教諭(清田中学校)の実践を参考に、松森亮介教諭(屯田北中学校)が授業を計画し公開しました。単元は中学1年生「根拠を明確にして魅力を伝えよう『鑑賞文を書く』」。葛飾北斎やピカソ、ゴヤなどの絵画について鑑賞文を書くため、前時までに学校図書館の資料を探し、鑑賞文の材料となる情報を「情報カード」にまとめていました。公開



【個人で作成した情報カードを班内で交流する生徒たち】

授業本時では、他者とのカードの交流と整理を通して、子どもたちは自分が調べていなかった情報の観点や情報元(資料)に気づき、視点を広げた調べ学習を行っていました。

子どもたちの頑張りも素晴らしかったですが、学校図書館司書の堀内久美子さんの活躍、松森教諭との連携が光る授業でした。堀内司書の、「鑑賞文に活用できる図書の一覧」作成のサポートや、授業中の生徒への直接のアドバイスが、調べ学習の充実につながっていました。

授業後の研究討議では、「資料の著者の意見を受け、自分は思うかなどを考えさせること」や「情報をそのまま鵜呑みにしないこと」などの指導が重要であることが改めて確認されました。



【ほしい情報の探し方を
アドバイスする堀内司書】



【全市の学校図書館スタッフの皆様にご参加いただきました。】



【班で交流し、情報を整理する生徒たちと松森教諭】

<高等学校研究部話題提供について>

研究大会の後半は、高等学校研究部を代表して、藤原國晃教諭（市立札幌旭丘高等学校）による話題提供「高等学校における学校図書館の利活用について」がありました。高等学校の特徴や他校種との相違点に触れた後、毎秋開催される全道高校図書研究大会での取組が紹介されました。さらに、他校種と異なり生徒と情報端末との距離が近い実態に触れ、「インターネットの検索のような核心的な情報だけでなく、知りたいこと以外の情報や、他の事物との関係が自然と目に入る」という本や新聞の特性が、図書館の価値につながるのではないかという考察なども発表されました。



【研究討議と講演も充実した内容でした。】



【総合的な学習の時間での図書館利用について報告する藤原教諭】

◆知っていますか……？ 『札幌市SLA オフィシャルホームページ』

札幌市学校図書館協議会では、公式HPで様々な情報を公開しています。活動の報告はもちろん、年次総会の資料や過去の読書感想文コンクールの入賞作品集も掲載されています。

さらに、学校図書館スタッフの皆さんには、「研修大会&実務研修会」のページで見ることができる過去の資料をオススメします！平成29年に開催された第42回北海道学校図書館研究大会札幌大会の資料をはじめとして、様々な校種の公開授業指導案や実践報告、図書館や読書に関わる皆さんの講演の報告などが詰まっています。

「もっと図書館と本の魅力を伝えたい！子どもにも大人にも図書館に来てほしい！」「公開授業で何か図書館を使いたいんだけど……。」「調べ学習がうまくいなくて悩んでいます……。」「図書館の装飾や配置を工夫したいな……。」「新学習指導要領の『情報活用能力』や『教科等横断的な学習の充実』について何かヒントは無いか……？」などなど、日々お悩みの皆様、是非ご覧ください！！



【アドレス】 <http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/sapporo/>

「札幌SLA」で検索してもすぐに出てきます！

札幌市SLA 通信は札幌市内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校に送付しています。校長先生をはじめ学校図書館を活用している先生方・司書教諭・学校図書館担当者・学校図書館スタッフの皆さままで回覧してください。